

大雨が降った時

洪水ハザードマップとガイドブックをご準備ください。



手順⑤ 洪水ハザードマップを使って避難行動を確認しよう!

洪水ハザードマップガイドブック10ページに記載した内容を、「わたしの避難計画」に書き写そう!

避難のタイミング判定フロー図

ご自身または一緒に避難する方で、避難に時間がかかる人はいるか
(高齢者、障がいのある方、乳幼児やその支援者など)

Yes → ●避難のタイミング 警戒レベル3 「高齢者等避難」が発令されたら避難開始

No → ●避難のタイミング 警戒レベル4 「避難指示」が発令されたら避難開始

※避難情報については、ガイドブックP.15「警戒レベルと避難行動」を参照。

「災害リスクチェックシート」③【大雨が降った時】「わたしの避難計画」に記載

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう!

①【家族の状況】 ガイド手順①参照

●避難に時間がかかる人
 いる
 いない

②【地震が発生した時】 ガイド手順②参照

●避難のタイミング
 強い揺れが収まったら
 強い揺れを感じなくても「大津波警報」等が発令された場合

●安否確認場所
※町内会等で決められている場所

●一時避難場所
自宅が危険な状況であれば指定避難所へ

●大雨が降った時

●避難のタイミング
河川氾濫 土砂災害

●避難先
自宅が危険な状況であれば指定避難所へ

●安否確認場所
自宅が安全な場合は自宅へ

●情報収集手段
テレビ等
やいづ防災メール
焼津市公式LINE
静岡県防災アプリ
焼津市のホームページ

●自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号など)

わたしの避難計画

津波浸水想定区域内である

●避難のタイミング

●一時避難場所

●大雨が降った時

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段

●自由記載欄

わたしの避難計画

津波浸水想定区域内ではない

●避難のタイミング

●安否確認場所

●一時避難場所

●大雨が降った時

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段

●自由記載欄

ガイドブック28ページ、「わが家の避難行動計画」を作成してみましょう。

洪水ハザードマップ・ガイドブックは、市ホームページで公開しています。



手順⑥ 避難の情報を知るための手段を決めておこう!

報道機関・情報サイトなど

- テレビ・ラジオ
- インターネット
- ホームページ
- スマートフォン向けアプリ

やいづ 防災メール

焼津市 LINE

静岡県 防災アプリ

キキクル (気象庁)

土砂災害警戒情報(静岡県)

家族に合わせた備蓄をしよう!

発災後は、物資が届くまでに時間がかかる場合があります。食料品や日用品の確保が難しくなります。災害に備え、1週間分の水・食料・日用品の準備をしましょう。

避難とは「難」を「避」けること

避難とは、避難所に行くことが全てではありません。今いる場所が安全であれば、そこに留まることができます。安全な場所であれば、自宅や親戚宅、知人宅、宿泊施設も避難先となります。

発行・問合せ先
 静岡県危機管理部危機政策課 054-221-3731 (「わたしの避難計画」全般に関すること)
 焼津市防災部防災計画課 054-625-0128 (地震・津波に関すること)
 焼津市建設部河川課 054-626-1118 (洪水・土砂災害に関すること)

わたしの避難計画 作成ガイド

災害に備えて、「どのタイミングで」「どこに」避難するかを前もって整理しましょう。災害時に自分や家族が「あわてることなく」「安全な場所へ」避難できます。



作り方 手順①～⑥に従って「わたしの避難計画」へ必要な事項を記入しよう。

手順① 家族で避難に時間がかかる人を確認しよう! ⇒作成ガイド1ページ

地震が発生した時 ⇒作成ガイド2ページ

手順② 地震・津波の危険性を確認しよう!

手順③ 避難のタイミングと避難先を確認しよう! ⇒作成ガイド2ページ

南海トラフ地震臨時情報が発表された時 ⇒作成ガイド3ページ

手順④ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表時の行動を決めよう!

大雨が降った時 ⇒作成ガイド4ページ

手順⑤ 洪水ハザードマップを使って避難行動を確認しよう!

手順⑥ 避難の情報を知るための手段を決めておこう! ⇒作成ガイド4ページ

出来上がりの例(見本)

ガイドに沿ってこれをつくっていくよ!



わたしの避難計画

津波浸水想定区域内である

●避難のタイミング

●一時避難場所

●大雨が降った時

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段

●自由記載欄

災害リスクチェックシート

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう!

①【家族の状況】 ガイド手順①参照

●避難に時間がかかる人
 いる
 いない

②【地震が発生した時】 ガイド手順②参照

●避難のタイミング
 強い揺れが収まったら
 強い揺れを感じなくても「大津波警報」等が発令された場合

●安否確認場所
※町内会等で決められている場所
〇〇公会堂

●一時避難場所
自宅が危険な状況であれば指定避難所へ

●大雨が降った時

●避難のタイミング
河川氾濫による危険
土砂災害による危険

●避難先
自宅が危険な状況であれば指定避難所へ

●安否確認場所
自宅が安全な場合は自宅へ

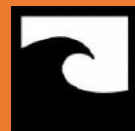
●情報収集手段
テレビ等
やいづ防災メール
焼津市公式LINE
静岡県防災アプリ
焼津市のホームページ

●自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号など)

手順① 家族で避難に時間がかかる人を確認しよう!

「災害リスクチェックシート」①【家族の状況】に記載

- ご自身または一緒に避難する方で、避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。



地震が発生した時

手順② 地震・津波の危険性を確認しよう!

「災害リスクチェックシート」
②【地震が発生した時】に記載

<津波浸水想定区域(着色エリア)>



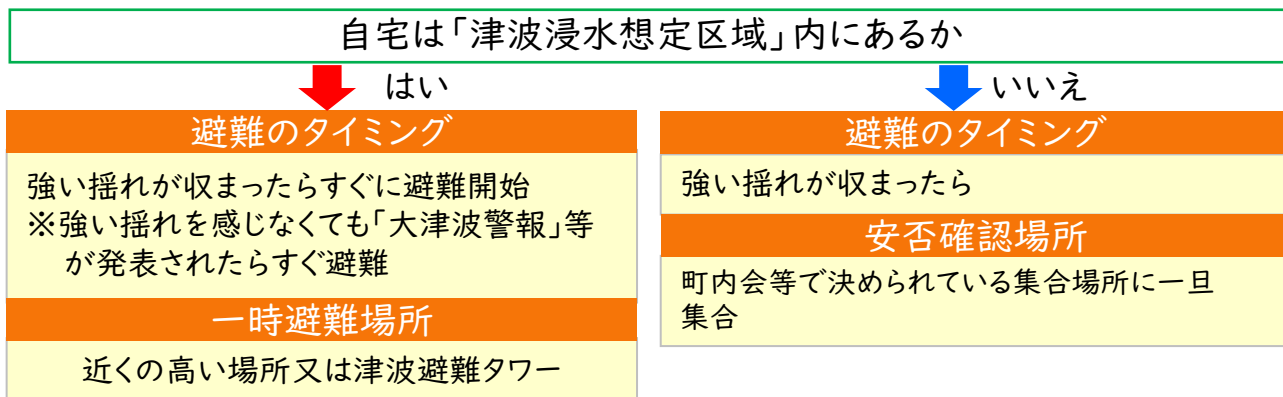
最大浸水深凡例	
5~10m	(Red)
3~5m	(Pink)
2~3m	(Light Pink)
1~2m	(Yellow)
0.3~1m	(Light Yellow)
0~0.3m	(Green)



- ア) 上の図を見て、自宅がどこにあるか確認しましょう。西島自治会は、津波浸水想定区域ではないため、色が塗られていないことを確認しよう。
 - イ) 確認した結果を「わたしの避難計画」災害リスクチェックシートの マークの欄にメモしよう。
- ・津波浸水想定区域の図は、静岡県第4次地震被害想定レベル2の津波浸水想定を表示しています。

手順③ 避難のタイミングと避難先を確認しよう!

- ア) 下のフローチャートを使って自分の避難先、避難のタイミングを確認しよう



- イ) 「わたしの避難計画」の空欄に手順③の結果を記入しよう

市ホームページで確認するには

市防災地図や一時避難場所、南海トラフ地震臨時情報発表時の防災行動など、市ホームページで公開しています。

市防災地図

一時避難場所

南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒) が発表されたときの防災行動について

○ 焼津市の地震による危険

震度6強から震度7の揺れが想定されています。

○ 震度と体感

震度 0 	震度 1 	震度 2 	震度 3 	震度 4
人は揺れを感じない。	屋内にいる人の一部がわかるわずかな揺れを感じる。	電灯などがわずかに揺れる。	棚の食器類が、音を立てることもある。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
震度 5弱 	震度 5強 	震度 6弱 	震度 6強 	震度 7
棚にある食器類や本が落ちることがある。	棚にある食器類や本など落ちるものが増える。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。

💡 南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒) が発表された時

手順④ 南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒) 発表時の行動を決めよう!

南海トラフ地震臨時情報とは

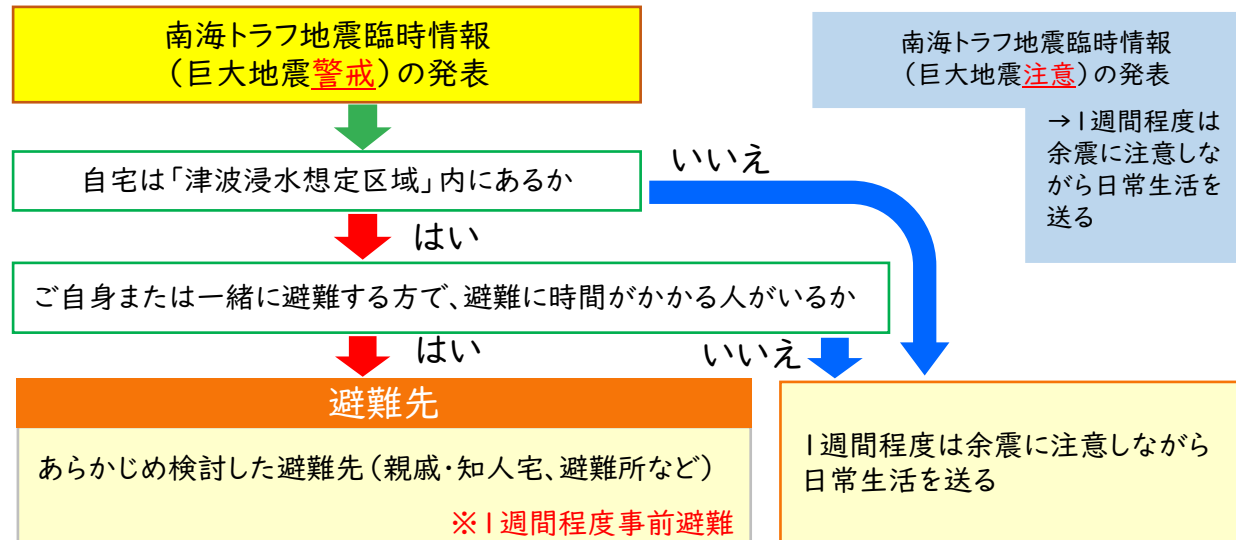
南海トラフ地震の起きる可能性が普段よりも相対的に高まったとき、気象庁から発表されます。(地震を予知する情報ではありません)

南海トラフ地震臨時情報 { 巨大地震警戒
巨大地震注意

西島自治会では

津波浸水想定区域はありませんが、情報発表時は、日頃からの地震への備えを再確認していただくとともに、できるだけ安全な防災行動をとっていただき、巨大地震への警戒を高めましょう。

- ア) 下のフローチャートを使って自分の避難先、避難のタイミングを確認しよう



- イ) 「わたしの避難計画」の空欄に手順④の結果を記入しよう (情報収集手段は手順⑥を見て書こう)